

機械工学科の三つの方針について

【機械工学科】卒業認定方針（ディプロマ・ポリシー）

次に示す能力（教育目標に対応した達成目標）を身につけ、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の単位を修得した学生に対し卒業を認定しています。【 】内は、対応する学習・教育目標

- ① 学び習得した知識を適切に表現し、活用することができる。【A 技術者としての基礎力】
- ② 実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することができる。【B 持てる知識を使う応用力】
- ③ 関心のある分野について継続的に学習していくことができる。【C 社会と自らを高める発展力】
- ④ 地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を送ることができる。【D 地球の一員としての倫理力】
- ⑤ 日本語及び英語の資料等を読み、適切に理解することができる。【E 社会とかかわるためのコミュニケーション力】
- ⑥ 自らの考え等について分かりやすく関係者に説明することができる。【E 社会とかかわるためのコミュニケーション力】

【機械工学科】教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

我が国の将来を担うものづくりの基盤技術を支える創造性に富んだ技術者を養成するため、地域社会と連携し、実験・実習を重視した実践的な技術教育を行うことを教育理念とし、機械工学科では、機構、構造、材料などの運動や力学に関する基礎知識を基に、機械システムを設計・開発する能力を有し、更にこのシステムをコントロール可能な機械制御システムとして扱うことができる実践的技術者の養成を学科の教育目標として教育課程（カリキュラム）を編成しています。

具体的には、ディプロマ・ポリシーに掲げた学習・教育目標に対応した達成目標を身につけるため、以下の科目を開講しています。

- 【A 技術者としての基礎力】教養基礎（数学、物理、化学など）、材料力学、流体力学、熱力学、機械力学など
- 【B 持てる知識を使う応用力】実験実習、設計製図など
- 【C 社会と自らを高める発展力】卒業研究など
- 【D 地球の一員としての倫理力】環境科学、技術者倫理、社会科学など
- 【E 社会とかかわるためのコミュニケーション力】国語及び外国語（英語、中国語など）

これらの科目に関わる単位修得の認定は、試験と出席状況、学習態度、演習の成果等を総合して認定します。また、授業科目の成績は、下記の基準により評価します。

評価	評価点
優	80点以上
良	70点以上 80点未満
可	60点以上 70点未満
不可	60点未満

【機械工学科】入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【1年次入学】

中学校、義務教育学校の卒業生及び中等教育学校前期課程修了者を主たる対象とする入学者として、次のような人を広く求めています。

- ① ものづくりに関心があり、基礎学力を持った人
- ② 自ら見つけた目標を達成するために挑戦していける人

③ 文化や自然環境を大切にする人

入学者選抜の実施方法は、推薦によるものと学力検査によるものがあり、次のように実施しています。

推薦による選抜は、作文（８００字詰め原稿用紙、横書き１枚）、面接、在籍学校長から提出された調査書及び推薦書を総合して判定します。

学力検査による選抜は、学力検査及び在籍（出身）学校長から提出された調査書を総合して判定します。

【４年次編入学】

工業高等学校または高等学校の工業に関する学科、普通科及び理数科の卒業者を主たる対象とする４年次への編入学者として、次のような人を広く求めています。

① 専門分野の基礎となる学力を有する人

② 自ら創意工夫をして物事に積極的かつ継続的に取り組める人

③ 文化や自然環境に対する広い視野を持ち、周囲の人と協調しつつコミュニケーションができる人

編入学者の選抜は、学力検査、面接検査及び調査書の内容を総合して判定します。

電気情報工学科の三つの方針について

【電気情報工学科】卒業認定方針（ディプロマ・ポリシー）

次に示す能力（教育目標に対応した達成目標）を身につけ、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の単位を修得した学生に対し卒業を認定しています。【 】内は、対応する学習・教育目標

- ① 学び習得した知識を適切に表現し、活用することができる。【A 技術者としての基礎力】
- ② 実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することができる。【B 持てる知識を使う応用力】
- ③ 関心のある分野について継続的に学習していくことができる。【C 社会と自らを高める発展力】
- ④ 地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を送ることができる。【D 地球の一員としての倫理力】
- ⑤ 日本語及び英語の資料等を読み、適切に理解することができる。【E 社会とかかわるためのコミュニケーション力】
- ⑥ 自らの考え等について分かりやすく関係者に説明することができる。【E 社会とかかわるためのコミュニケーション力】

【電気情報工学科】教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

我が国の将来を担うものづくりの基盤技術を支える創造性に富んだ技術者を養成するため、地域社会と連携し、実験・実習を重視した実践的な技術教育を行うことを教育理念とし、電気情報工学科では、電気エネルギーから情報通信に至るまで、電気・電子・情報関連の幅広い知識や技術を習得し、設計、開発、管理などの業務に従事できる実践的技術者の養成を学科の教育目標として教育課程（カリキュラム）を編成しています。

具体的には、ディプロマ・ポリシーに掲げた学習・教育目標に対応した達成目標を身につけるため、以下の科目を開講しています。

- 【A 技術者としての基礎力】 教養基礎（数学、物理、化学など）、電気回路、電気磁気学、情報処理など
- 【B 持てる知識を使う応用力】 電気情報基礎実験、電気情報応用実験、電気情報工学演習など
- 【C 社会と自らを高める発展力】 卒業研究など
- 【D 地球の一員としての倫理力】 環境科学、技術者倫理、社会科学など
- 【E 社会とかかわるためのコミュニケーション力】 国語及び外国語（英語、中国語など）

これらの科目に関わる単位修得の認定は、試験と出席状況、学習態度、演習の成果等を総合して認定します。また、授業科目の成績は、下記の基準により評価します。

評価	評価点
優	80点以上
良	70点以上 80点未満
可	60点以上 70点未満
不可	60点未満

【電気情報工学科】入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【1年次入学】

中学校、義務教育学校の卒業生及び中等教育学校前期課程修了者を主たる対象とする入学者として、次のような人を広く求めています。

- ① ものづくりに関心があり、基礎学力を持った人
- ② 自ら見つけた目標を達成するために挑戦していける人
- ③ 文化や自然環境を大切にする人

入学者選抜の実施方法は、推薦によるものと学力検査によるものがあり、次のように実施しています。

推薦による選抜は、作文（800字詰め原稿用紙、横書き1枚）、面接、在籍学校長から提出された調査書及び推薦書を総合して判定します。

学力検査による選抜は、学力検査及び在籍（出身）学校長から提出された調査書を総合して判定します。

【4年次編入学】

工業高等学校または高等学校の工業に関する学科、普通科及び理数科の卒業者を主たる対象とする4年次への編入学者として、次のような人を広く求めています。

- ① 専門分野の基礎となる学力を有する人
- ② 自ら創意工夫をして物事に積極的かつ継続的に取り組める人
- ③ 文化や自然環境に対する広い視野を持ち、周囲の人と協調しつつコミュニケーションができる人

編入学者の選抜は、学力検査、面接検査及び調査書の内容を総合して判定します。

電子制御工学科の三つの方針について

【電子制御工学科】卒業認定方針（ディプロマ・ポリシー）

次に示す能力（教育目標に対応した達成目標）を身につけ、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の単位を修得した学生に対し卒業を認定しています。【 】内は、対応する学習・教育目標

- ① 学び習得した知識を適切に表現し、活用することができる。【A 技術者としての基礎力】
- ② 実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することができる。【B 持てる知識を使う応用力】
- ③ 関心のある分野について継続的に学習していくことができる。【C 社会と自らを高める発展力】
- ④ 地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を送ることができる。【D 地球の一員としての倫理力】
- ⑤ 日本語及び英語の資料等を読み、適切に理解することができる。【E 社会とかかわるためのコミュニケーション力】
- ⑥ 自らの考え等について分かりやすく関係者に説明することができる。【E 社会とかかわるためのコミュニケーション力】

【電子制御工学科】教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

我が国の将来を担うものづくりの基盤技術を支える創造性に富んだ技術者を養成するため、地域社会と連携し、実験・実習を重視した実践的な技術教育を行うことを教育理念とし、電子制御工学科では、組み込みマイコン及びロボット制御に関する専門的知識と技術を「情報」、「電気電子」、「機械制御」の各分野について幅広く習得することにより、ものづくりの基盤技術を支える創造性に富んだ実践的技術者の養成を学科の教育目標として教育課程（カリキュラム）を編成しています。

具体的には、ディプロマ・ポリシーに掲げた学習・教育目標に対応した達成目標を身につけるため、以下の科目を開講しています。

- 【A 技術者としての基礎力】教養基礎（数学、物理、化学など）、情報処理、電気・電子回路、ロボット制御工学など
- 【B 持てる知識を使う応用力】マイコン制御、ソフトウェア工学、工学実験実習など
- 【C 社会と自らを高める発展力】卒業研究など
- 【D 地球の一員としての倫理力】環境科学、技術者倫理、社会科学など
- 【E 社会とかかわるためのコミュニケーション力】国語及び外国語（英語、中国語など）

これらの科目に関わる単位修得の認定は、試験と出席状況、学習態度、演習の成果等を総合して認定します。また、授業科目の成績は、下記の基準により評価します。

評価	評価点
優	80点以上
良	70点以上 80点未満
可	60点以上 70点未満
不可	60点未満

【電子制御工学科】入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【1年次入学】

中学校、義務教育学校の卒業生及び中等教育学校前期課程修了者を主たる対象とする入学者として、次のような人を広く求めています。

- ① ものづくりに関心があり、基礎学力を持った人
- ② 自ら見つけた目標を達成するために挑戦していける人

③ 文化や自然環境を大切にする人

入学者選抜の実施方法は、推薦によるものと学力検査によるものがあり、次のように実施しています。

推薦による選抜は、作文（８００字詰め原稿用紙、横書き１枚）、面接、在籍学校長から提出された調査書及び推薦書を総合して判定します。

学力検査による選抜は、学力検査及び在籍（出身）学校長から提出された調査書を総合して判定します。

【４年次編入学】

工業高等学校または高等学校の工業に関する学科、普通科及び理数科の卒業者を主たる対象とする４年次への編入学者として、次のような人を広く求めています。

① 専門分野の基礎となる学力を有する人

② 自ら創意工夫をして物事に積極的かつ継続的に取り組める人

③ 文化や自然環境に対する広い視野を持ち、周囲の人と協調しつつコミュニケーションができる人

編入学者の選抜は、学力検査、面接検査及び調査書の内容を総合して判定します。

物質工学科の三つの方針について

【物質工学科】卒業認定方針（ディプロマ・ポリシー）

次に示す能力（教育目標に対応した達成目標）を身につけ、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の単位を修得した学生に対し卒業を認定しています。【 】内は、対応する学習・教育目標

- ① 学び習得した知識を適切に表現し、活用することができる。【A 技術者としての基礎力】
- ② 実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することができる。【B 持てる知識を使う応用力】
- ③ 関心のある分野について継続的に学習していくことができる。【C 社会と自らを高める発展力】
- ④ 地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を送ることができる。【D 地球の一員としての倫理力】
- ⑤ 日本語及び英語の資料等を読み、適切に理解することができる。【E 社会とかかわるためのコミュニケーション力】
- ⑥ 自らの考え等について分かりやすく関係者に説明することができる。【E 社会とかかわるためのコミュニケーション力】

【物質工学科】教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

我が国の将来を担うものづくりの基盤技術を支える創造性に富んだ技術者を養成するため、地域社会と連携し、実験・実習を重視した実践的な技術教育を行うことを教育理念とし、物質工学科では、化学及び生化学を基盤とし、それらから派生する工学の基礎知識と技術を備えた実践的技術者の養成を学科の教育目標として教育課程（カリキュラム）を編成しています。

具体的には、ディプロマ・ポリシーに掲げた学習・教育目標に対応した達成目標を身につけるため、以下の科目を開講しています。

- 【A 技術者としての基礎力】教養基礎（数学、物理、化学など）、分析化学、有機化学、無機化学、物理化学、生化学、化学工学など
- 【B 持てる知識を使う応用力】基礎実験、創造実習、物質工学実験など
- 【C 社会と自らを高める発展力】演習、卒業研究など
- 【D 地球の一員としての倫理力】環境科学、技術者倫理、社会科学など
- 【E 社会とかかわるためのコミュニケーション力】国語及び外国語（英語、中国語など）

これらの科目に関わる単位修得の認定は、試験と出席状況、学習態度、演習の成果等を総合して認定します。また、授業科目の成績は、下記の基準により評価します。

評価	評価点
優	80点以上
良	70点以上 80点未満
可	60点以上 70点未満
不可	60点未満

【物質工学科】入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【1年次入学】

中学校、義務教育学校の卒業生及び中等教育学校前期課程修了者を主たる対象とする入学者として、次のような人を広く求めています。

- ① ものづくりに関心があり、基礎学力を持った人
- ② 自ら見つけた目標を達成するために挑戦していける人
- ③ 文化や自然環境を大切にする人

入学者選抜の実施方法は、推薦によるものと学力検査によるものがあり、次のように実施しています。

推薦による選抜は、作文（８００字詰め原稿用紙、横書き１枚）、面接、在籍学校長から提出された調査書及び推薦書を総合して判定します。

学力検査による選抜は、学力検査及び在籍（出身）学校長から提出された調査書を総合して判定します。

【４年次編入学】

工業高等学校または高等学校の工業に関する学科、普通科及び理数科の卒業者を主たる対象とする４年次への編入学者として、次のような人を広く求めています。

- ① 専門分野の基礎となる学力を有する人
 - ② 自ら創意工夫をして物事に積極的かつ継続的に取り組める人
 - ③ 文化や自然環境に対する広い視野を持ち、周囲の人と協調しつつコミュニケーションができる人
- 編入学者の選抜は、学力検査、面接検査及び調査書の内容を総合して判定します。

建築学科の三つの方針について

【建築学科】卒業認定方針（ディプロマ・ポリシー）

次に示す能力（教育目標に対応した達成目標）を身につけ、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の単位を修得した学生に対し卒業を認定しています。【 】内は、対応する学習・教育目標

- ① 学び習得した知識を適切に表現し、活用することができる。【A 技術者としての基礎力】
- ② 実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することができる。【B 持てる知識を使う応用力】
- ③ 関心のある分野について継続的に学習していくことができる。【C 社会と自らを高める発展力】
- ④ 地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を送ることができる。【D 地球の一員としての倫理力】
- ⑤ 日本語及び英語の資料等を読み、適切に理解することができる。【E 社会とかかわるためのコミュニケーション力】
- ⑥ 自らの考え等について分かりやすく関係者に説明することができる。【E 社会とかかわるためのコミュニケーション力】

【建築学科】教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

我が国の将来を担うものづくりの基盤技術を支える創造性に富んだ技術者を養成するため、地域社会と連携し、実験・実習を重視した実践的な技術教育を行うことを教育理念とし、建築学科では、社会環境及び建築技術の革新に合わせた知識・技術を習得し、建築の企画、設計、生産に従事する創造的な実践的技術者の養成を学科の教育目標として教育課程（カリキュラム）を編成しています。

具体的には、ディプロマ・ポリシーに掲げた学習・教育目標に対応した達成目標を身につけるため、以下の科目を開講しています。

- 【A 技術者としての基礎力】教養基礎（数学、物理、化学など）、デザイン基礎、建築計画、建築構造など
- 【B 持てる知識を使う応用力】創造実験・演習、構造計画、設計製図など
- 【C 社会と自らを高める発展力】建築ゼミナール、卒業研究など
- 【D 地球の一員としての倫理力】環境科学、技術者倫理、社会科学など
- 【E 社会とかかわるためのコミュニケーション力】国語及び外国語（英語、中国語など）

これらの科目に関わる単位修得の認定は、試験と出席状況、学習態度、演習の成果等を総合して認定します。また、授業科目の成績は、下記の基準により評価します。

評価	評価点
優	80点以上
良	70点以上 80点未満
可	60点以上 70点未満
不可	60点未満

【建築学科】入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【1年次入学】

中学校、義務教育学校の卒業生及び中等教育学校前期課程修了者を主たる対象とする入学者として、次のような人を広く求めています。

- ① ものづくりに関心があり、基礎学力を持った人
- ② 自ら見つけた目標を達成するために挑戦していける人
- ③ 文化や自然環境を大切にする人

入学者選抜の実施方法は、推薦によるものと学力検査によるものがあり、次のように実施しています。

推薦による選抜は、鉛筆によるデッサン、面接、在籍学校長から提出された調査書及び推薦書を総合して判定します。

学力検査による選抜は、学力検査及び在籍（出身）学校長から提出された調査書を総合して判定します。

【4年次編入学】

工業高等学校または高等学校の工業に関する学科、普通科及び理数科の卒業者を主たる対象とする4年次への編入学者として、次のような人を広く求めています。

- ① 専門分野の基礎となる学力を有する人
- ② 自ら創意工夫をして物事に積極的かつ継続的に取り組める人
- ③ 文化や自然環境に対する広い視野を持ち、周囲の人と協調しつつコミュニケーションができる人

編入学者の選抜は、学力検査、面接検査及び調査書の内容を総合して判定します。